

## 行政常任委員会

令和 2 年 1 1 月 2 7 日（金）

午前 1 1 時 0 9 分 開 会

○南委員長      それでは、行政常任委員会を開会させていただきます。

開会前に、もし市長から何かありましたら。

○加藤市長      改めましておはようございます。

議員の皆様には、本会議に引き続きまして行政常任委員会を開催していただき、誠にありがとうございます。

さて、本委員会に付託されています議案につきましては、議案第 6 5 号、職員の給与に関する条例の一部改正についてから、議案第 6 7 号、令和 2 年度尾鷲市一般会計補正予算（第 6 号）の議決についてまでの 3 議案であります。

提出議案につきましては、担当課長より説明いたさせますので、よろしく御審査賜りますようお願い申し上げます。

○南委員長      ありがとうございました。

それでは、総務課の所管の付託されている議案第 6 5 号と議案第 6 6 号の説明を求めます。

○竹平総務課長      それでは、総務課より、議案第 6 5 号及び議案第 6 6 号について御説明をさせていただきます。

まず最初に、議案書の 1 ページのほうをお願いいたしますが、議案第 6 5 号、職員の給与に関する条例の一部改正についてにつきましては、先ほど説明させていただきましたとおり、令和 2 年 1 0 月 7 日に、民間の支給割合との均衡を図るため、期末手当を引き下げる人事院勧告がなされたことに伴い、これに準拠するため、本年度及び来年度の期末手当の年間支給率を 0.05 引き下げる一部改正を行うものでございます。

2 ページを御覧ください。

第 1 条において、職員の本年 1 2 月の期末手当支給率を、1 0 0 分の 1 3 0 を 1 0 0 分の 1 2 5 に、管理職員においては 1 0 0 分の 1 1 0 を 1 0 0 分の 1 0 5 に改め、本年度の 1 2 月期末手当支給率を 0.05 引き下げるもので、第 2 条において、来年度からの期末手当支給率を 6 月と 1 2 月で平準化して年間支給率を 0.05 引き下げるものであり、後ほど資料にて御説明をさせていただきます。

次に、３ページ、議案第６６号、尾鷲市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正につきましては、４ページを御覧ください。

本市１３８名の会計年度任用職員については、第９条第１項及び第１７条第１項において期末手当の年間支給率を、任用された年度の４月１日における支給率として適用するための条文を加える一部改正であり、人事院勧告の指摘については、令和３年度から年間支給率を２．６から２．５５とするものでございます。

それでは、資料で御説明をさせていただきたいと思います。

通知をさせていただきます。

令和２年度の、まず人事院勧告の概要でございますが、給与勧告の基本的な考え方として、市場原理による決定が困難である公務員給与は、労使交渉等によって経済・雇用情勢等を反映して決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的とされており、本市の対応方針は２ページに記載のとおりであります。給料表その他手当等については、一般的に人事院勧告に準拠して改正を行うこととしております。

今回の人事院勧告の内容は、月例給の改定は行わず、２の期末手当、勤勉手当の表のとおりでございますが、０．０５月の引下げでございます。

令和２年度においては、年間支給率の４．５をこの１２月に０．５引き下げ４．４５とし、下の表にありますように、令和３年度においては、６月と１２月を平準化して、４．４５月分とする改定でございます。

２ページを御覧ください。

２の人件費影響額であります。一般会計、国保会計、後期会計の１６６名分の期末勤勉手当の削減の影響額は２９４万６、１８６円で、賞与平均では、一般会計で１万７、８８１円、国保、後期を含めると１万６、６４５円となっております。

なお、特別職の市長、副市長、教育長の３役においてでございますが、本市の厳しい財政状況を鑑み、平成３０年度より、特例期間を設けて減額措置を講じており、本年度は、市長は期末手当の２５％減額、副市長、教育長は１５％減額しており、さらに期末手当の年間支給率は人勧の引下げ勧告より０．５少ない３．９５であるため、今回見送りとさせていただいておるところでございます。

説明は以上でございます。

○南委員長　説明は以上でございます。

御質疑のある方、御発言を願います。

○三鬼（和）委員　参考までに聞かせてほしいんですけど、先ほどの、任用職員

の部分も含めて条例変更になっているんですけど、ということは、任用職員については、今年度はこの人事院の勧告の対象にはならないと理解したらいいんですか。それ、ちょっとはっきり明確に。

○竹平総務課長 会計年度任用職員においては、今年度の改定では影響を受けないということでございます。

○南委員長 他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長 ないようですので、総務課の審査を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

続いて、財政課のほうに入っていただきます。

よろしいですか、財政課長。御苦労さんでした。

それでは、付託議案第67号、令和2年度尾鷲市一般会計補正予算(第6号)の議決についての説明を求めます。

○岩本財政課長 それでは、議案第67号、令和2年度尾鷲市一般会計補正予算(第6号)の議決について御説明申し上げます。

なお、説明につきましては、予算書のほうを財政課から一括して説明させていただき、後ほど政策調整課から、資料に基づき説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

補正予算書の1ページを御覧ください。

今回の補正につきましては、第1条第1項にありますとおり、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5,521万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ130億52万6,000円とするものでございます。

続きまして、補正予算の内容について御説明申し上げます。

8ページ、9ページを御覧ください。

歳入でございます。17款寄附金、1項寄附金、1目総務費寄附金1億円の増額は、ふるさと応援寄附金の増額見込みによるものでございます。

次に、18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金5,521万3,000円の増額は、今補正の財源として繰り入れるものでございます。

続きまして、10ページ、11ページを御覧ください。

歳出でございます。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費5,521万3,000円の増額は、ふるさと応援寄附金の増額見込みに伴い、必要となる経費を増額するものであり、需用費は、寄附証明書、お礼状のコピー用紙代など消耗品

として18万9,000円。役務費の通信運搬費は、郵送料として34万1,000円及びふるさと納税指定代理納付手数料668万3,000円の増額。委託料は、ふるさと納税関連業務委託料として4,800万円の増額でございます。

次に、3目財産管理費1億円の増額は、ふるさと応援寄附金の増額見込み分1億円をふるさと応援基金へ積み立てるものでございます。

ここで、委員会資料の1ページを御覧ください。

今回の補正予算を踏まえた基金残高でございます。

財政調整基金は5,521万3,000円を取り崩すことにより、補正後残高は8億1,590万円。ふるさと応援基金は1億円を積み立てることにより、2億8,092万4,000円となり、基金合計につきましては17億7,420万2,000円となる見込みでございます。

財政課からの説明は以上でございます。

続きまして、政策調整のほうから説明をさせていただきます。

○三鬼政策調整課長 政策調整課です。よろしくお願いいたします。

続きまして、委員会資料に基づき、令和2年度ふるさと納税の状況を御説明させていただきます。

資料を通知させていただきます。

よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

○南委員長 お願いします。

○三鬼政策調整課長 ここでは、令和2年度ふるさと納税寄附金の申請件数について、月別の状況を示しております。

4月以降、前年を上回る堅調さが続いており、11月24日までの申請件数は1万1,870件で、前年同時期に比べ9,246件上回っており、率にして452%と大きく増加しております。下のグラフでもお分かりのように、特に10月、11月の伸びが大きくなっているのが現状でございます。

隣、2ページを御覧ください。

ここでは、令和2年度ふるさと納税寄附金の申請金額について、月別の状況を示させていただきました。

こちらでも申請件数に比例して、4月以降、前年を上回る堅調さが続いており、11月24日までの申請金額は1億8,691万9,000円で、前年同時期に比べ1億2,737万8,000円上回っており、314%と大きく増加しております。

次、3ページを御覧ください。よろしくお願いいたします。

ここでは、令和２年度ふるさと納税返礼品件数の上位１１位までを示しております。

生食用サーモン切り落としが５，４３８件で最も多く、続いて、尾鷲もちもちマクロ切り身、三重県産温州ミカンとなっています。

隣、４ページを御覧ください。

ここでは、令和２年度ふるさと納税寄附金額・エリアの上位５位までを示しております。

寄附金額では、１万円が７，７８０件で最も多く、続いて、２万円、３万５，０００円のお品と続いております。また、エリアでは、東京都が２，７５１件で最も多く、続いて、愛知県、神奈川県となっております。

続きまして、５ページを御覧ください。

ここでは、令和２年度ふるさと納税事業活動状況を記載しております。

ふるさと納税を通じ、尾鷲市を応援していただく関係人口づくりを目指す本市では、前年度御寄附を頂いた寄附者皆様に御案内文書を送付させていただき、また、ふるさと納税サイトふるさとチョイスを運営するトラストバンクとともに、特集ページの掲載に取り組むなど、ふるさと納税拡大に向けた取組を続けさせていただいております。

また、１１月８日には、ふるさとチョイス大感謝祭として、インターネット生放送番組に、市長、地域おこし協力隊及び出品事業者が出演し、尾鷲のまちと返礼品の魅力を全国へ発信いたしました。

続きまして、７ページ、８ページを御覧ください。よろしくお願いいたします。

ここでは、令和２年度新規返礼品リストを記載しております。

魅力ある返礼品を目指して、担当者と事業者が検討を重ね、４月以降、７０品の新規返礼品を生み出しており、このことがふるさと納税拡大に効果があったものと考えております。今後も事業者の皆様の協力をいただきながら、魅力ある返礼品の充実に努めてまいりたいと考えております。

ふるさと納税に関する説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○南委員長      ありがとうございました。

説明は以上でございます。

御意見のある方、御発言を願います。

○野田委員      ふるさと納税の寄附金が堅調ということで、非常にうれしいことです。担当者の方の御尽力で、このようになっているということに深く敬意を表した

いと思います。

その中で、今回、先ほどありました1万1,870件ということで、前年同期比にすると4.12倍ということと言われたと思うんやけれども、令和元年度と比較すると、ちょっとほかの資料を見ますと2倍ぐらいになっているんですけど、それでまずよろしいんですか、一つは。

○三鬼政策調整課長      ちょっと表と私の表現が乖離しておりまして申し訳ございませんでした。

表に記載してあります前年比の合計額207.5%は、現時点で、例えば12月以降、この寄附がなかったとしても、既に207.5%という累計の数字でございまして、前年同時期と比べて415%と申し上げましたのは、前年同時期の今の時期と比べての4.15倍という意味で御理解いただきたいと思います。

○野田委員      本当にうれしいことだと思いますので、それで、今後、このふるさと納税については、先ほど課長のほうから報告がありましたように、新返礼品の検討とかということをやられるということで、納税者の方のやっぱり満足度とか改善度という部分については、今後きちとした形で、ニーズ性というものを整理していただいて、今後のデータに役立てていただきたいと思いますので、ひとつよろしくお願いします。

以上です。

○小川委員      ふるさと納税、かなり上がっているみたいなんですけれども。職員の皆さんの努力も結構あるなというのを今感じました。

そこで、サーモンの切り落とし、サーモンですか、これ1位で、これから先も続くのかどうか。何か作っているところがこれから年末になるとタイとかの出荷が忙しくなって、サーモンができないようなこともちらっと聞いたんですけど、その点はどうなんでしょうか。

○西村政策調整課主幹兼係長      小川委員が今質問されたサーモンの切り落とし、人気のある返礼品なんですけど、今現在ふるさとチョイス、ナンバーワンポータルサイトになるんですけど、ふるさと納税の、そこに商品が今現在30万点並んでおります。その中の、先月7位まで順位が行きました。現在1日100件以上の寄附が集まっております、そのサーモンだけで。実はサーモンを出荷しておる事業所のほうも、現在稼働を、フルで稼働しておるんですけど、ちょっともうこれ以上の出荷が無理やということで、寄附のほうも、出荷、寄附者へのお届けの日につきましては、翌年の1月中旬以降の発送に切り替えております。

以上です。

○小川委員　結構忙しいみたいで全国7位というのを聞きましたけど、あと、人気のところでイセエビというのがあると思うんですけど、去年と比べてイセエビの単価が2倍ぐらいしているようなものですけども、その点、このイセエビのほうは量も少ないみたいなんですけど、大丈夫なんですか。

○西村政策調整課主幹兼係長　イセエビの件につきましても、実は去年、尾鷲市に寄附をしたいという方がいたにもかかわらず、出品しておる事業者さんが少ないということで、なかなか寄附者さんの気持ちに応えることができなかったんですが、今年度は出店事業所を増やしまして、今4事業所が尾鷲市からイセエビのほうの出店をしております。

また、価格につきましても、事業者さんと何度も協議はしております。今現在、損をするようなことはないということはお聞きしております。

○小川委員　それと、もう一点。

それで、議長の紹介で、個人的に50万円やったですか、50万、ふるさと納税をしてくれた方がみえまして、その方がカツオかな、カツオを注文、50注文したみたいなんですけど、何日に届けてくださいというのがその日に届かなかったとか、そういう苦情が来たみたいなんですけど、その点どういうふうに考えておられるのか。

○西村政策調整課主幹兼係長　大変、あのときは日付指定にすることができなくて申し訳なかったんですが、現在尾鷲市のほうでは様々な取組を行っておりまして、特に冷蔵・冷凍商品に関しまして、冷蔵に関しては日付を事前に電話して聞き、そして、その日に届けることができるような発送方法にしており、現在クレームをあまり受けることがないように取り組んでおります。

以上です。

○三鬼（和）委員　ふるさと納税によって増額になったというか、件数も増えたということはありがたいことで、今、先ほどの質疑等で理解したんですけど。今回、この臨時会、財政課に尋ねるほうがいいのかな、この臨時会は、人事院の勧告を今しないと間に合わないということで、もう月が変わったら定例会がある中で、このふるさと納税関連の補正となったんですけど、やっぱり委託料とかそういうのがあって、臨時会へ計上してきたということがあるんですけど、日程的にやっぱり定例会では駄目だったんですか。どうなんですか、その辺り。

○三鬼政策調整課長　今回お願いした経緯は、当初予算でお認めいただきました

1億5,000万円の寄附金に対する返礼金を含めた委託業者への、いわゆるお支払いが、今月もう既に1億8,000万を超えておりますので、来月に支払う金額を早急にお認めいただきたいという思いから、本日にさせていただきました。定例会のことも以前議論したことがあるんですが、確実に対応するために、今日にさせていただいた次第です。よろしくお願いします。

○三鬼（和）委員　よく分かりました。基本的には臨時会でこういう措置をされたこと自体も初めてというかあまり、これのための臨時会じゃなかったはずですので、その辺をちょっと確認だけさせていただきたかったのです。多く発注というか注文していただいて、ふるさと納税を増やしていただいていることはありがたいことやもんで、そういったことに対する返戻金であるとか、業者に対する万全な体制を取るという意味での臨時会での補正計上ということで理解したいと思います。ありがとう。

○奥田委員　実は、私もこれ、今日見て非常にびっくりしたんですけど。僕はふるさと納税は減るかなと思っていたんですけど、すごいですね、これ。10月なんかも去年に比べ6倍近いし、11月も去年に比べて5倍以上ですか、いや、本当にこれ、よかったですよね。ありがたいですよね。尾鷲市、今、財政が厳しい中で。先ほど、課長のほうから説明がありましたけど、やっぱり新規返礼品が増えたということもよかったですよ、皆さんの御努力の成果だと思うんですけど。

それで、2点ほどお伺いしたいんですけども、今回、1億円増額するだろうということで、補正を上げられて、それで、委託料とかの歳出が5,500万ぐらいあるということで、率的にはこのぐらいなんですか。55%ぐらいが経費関係なのかということと、もう一つ、これまで言って申し訳ないけれども、逆に尾鷲市に対するふるさと納税が増える一方、逆に尾鷲市の方がよそにふるさと納税する人が増えていないかなという気もするんですけど、こういう数字を見ると。その辺のちょっと比較とか、前年比較とかというのはどうなんですか、捉えていますか。分かる範囲で。

○三鬼政策調整課長　1点目、御説明申し上げます。

1億円、今回増額させていただいたのに対する5,500万円ですので、約55%相当が経費率という現状でございます。国におきましては、いわゆる返礼品のお品の金額は、寄附額の3割相当にすることということと、やはりクレジットの手数料とか郵送のお金とか、諸経費を合わせるとおおむね5割を目指して運営してくださいという一定の基準がございます。



ですけど、やはり金額が、例えば２億円を下回る場合には、全国的に見ても経費率が５割を超えてしまうところが多くて、私たちもできるだけ５０％を目指して、経費率の削減も含めて、今、委託業者とも話をしているところでございまして、その辺をやはり効率的にすることも含めて、市の収入を増やしたいという思いがありますし、今後、いわゆる５０％を目指して協議は進めていきたいと思っております。

あと、２点目におっしゃられた、代わりに尾鷲の市民の方が他市町へのふるさと納税も確かにあるというふうに認識しておりますが、その金額は、いわゆる私たちが頂いているのよりかは少ないと認識しておりますし、その辺、特に統計を取っているわけではございませんが、同じような考え方で、尾鷲市にお住まいの方でも、出身地であるとか、いろいろなところを応援したいというこの趣旨に沿ってされている方もいらっしゃるというふうには認識しておりますが、統計的な数字はまだ取っておりません。

○南委員長　　よろしいですか。

他にございませんか。

○小川委員　　前回、いつやったかな、ガバメントクラウドファンディングのほうで、商品から選ぶんじゃなしに、事業から選ぶふるさと納税をやっていくということだったと思うんですけど、その点はどうなっているんですか。

○三鬼政策調整課長　　現在、今日御説明申し上げましたのは、返礼品の基本としたふるさと納税でございます。事業に賛同して、ふるさと納税に該当するガバメントクラウドファンディングにお応えいただいた方にも、記念品をお渡しする場合もあって、そういう制度もあることは庁内でも協議はしておりますが、今のところそれに該当する事業は実施していないのが現状でございます。ですので、今後どういう事業に、このガバメントクラウドファンディングという制度を通して、事業自体を応援していただく仕組みをつくるのかというのが庁内の課題となっております。

○小川委員　　今後それをやっていかれるんですか。

○三鬼政策調整課長　　どういう事業が、事業に賛同いただいて資金提供を受けるかというところ、やはり各担当課の思いもございまして、それを含めて、政策調整課も関わって、その辺はつくり上げていきたいと思いますが、現時点で具体的な案は、まだ示されるのはちょっとないのが現状でございます。

○南委員長　　よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○南委員長　　それでは、各３件の議案の審査を終わります。

執行部の退席を求めます。

それでは、付託議案の採決に入りたいと思います。

議案第 6 5 号、職員の給与に関する条例の一部改正について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

( 挙 手 全 員 )

○南委員長 挙手全員であります。

次に、議案第 6 6 号、尾鷲市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

( 挙 手 全 員 )

○南委員長 挙手全員であります。

最後に、議案第 6 7 号、令和 2 年度尾鷲市一般会計補正予算（第 6 号）の議決について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

( 挙 手 全 員 )

○南委員長 挙手全員。

ありがとうございました。全会一致で 3 議案とも可決をいたしました。

以上で常任委員会を終わります。

( 午前 1 1 時 3 7 分 閉会 )